
ヤンデレの累乗方程式。

篠原 抹茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤンデレの累乗方程式。

【Zコード】

Z2325BA

【作者名】

篠原 抹茶

【あらすじ】

とある一人の少女によって、演出されていく狂愛劇。

黒みを帯びた紺色のブレザー。控え目なプリーツが施されたスカート。中学生の頃よりも大人びた雰囲気の制服に身を包み、三谷由香は美丘女子高等学校の入学式に出席していた。

新しい環境とはいえ、ほとんどは見知った顔。由香はつい先日までこの高校の付属中学に通っていたからだ。町外れにあるために、高校受験で入学してくる人は少ない。女子校というのも、その原因の一つだろう。

眠りそうになるのを必死に堪えているうちに式は終わり、教室に向かう。自分の席を探して座ると、去年クラスメイトだった白石明樹が声をかけてきた。

「ゆーかっ、おはよーっ。またつ同じクラスだねっ。」

「おはよう。相変わらず、まるでぽんぽん跳ねてるような口調ね。はつらつとした性格に似合う茶色いショートカット。そう言えば、ここにいる人は誰でも明樹のことだと思つだろ。」

「由香こいつ相変わらずのつ、相変わらずのつ……、あつ、あの噂聞いたつ？」

「思いつかなかつたのね。あの噂つて？」

「冷静に分析しないでよつ。」

考えるより先に口や行動に出るのも明樹の特徴である。由香は比較的に落ち着いている方で、去年のクラスで二人はいコンビだと言っていた。というより姉妹のようだと言っていた。もちろん由香が姉側なのだが、本人達いわく明樹の方が姉っぽいらしい。

「はいはい。それで新学期早々なんの噂？」

軽く流されたことを気にもとめず、明樹は少し小声で話し始める。「窓際の席の子つ、まだここには来てないみたいなんだけつ超可愛いんだつてつ。でもつちょっと変な子らしいよつ。」

「変な子？」

由香が聞き返した途端、教室の扉が開いて誰かが入ってきた。一瞬、辺りが静かになる。その人を見た瞬間に、二人は息を飲んだ。

黒くて綺麗なロングヘア。くりくりとした大きな目には柔らかそな白い頬。とても高校生には見えない小さな背丈と幼い顔立ち。

「ねえ由香っ、私が思つてた100倍以上可愛いっ。」

明樹はそう呟くと、由香の隣からいなくなっていた。そして、まだ自分の席に座つたばかりのその子に、興味津々の笑みを浮かべて話し掛けた。

「私っ、白石明樹っ。あきつて呼んでっ。よろしくねっ、よろしくっ。」

突然目の前に飛び込んできたふわふわ娘に、少女は大きな目を更に見開いて停止した。それを見た由香が慌てて明樹に近づきたしめる。

「明樹ったら、急に話し掛けたらびっくりするでしょ？ 固まつてるじゃない。」

軽くデコピンをされた明樹が額を押さえて悶えている間に、由香は少女に話し掛けた。

「いきなりごめんね。私は三谷由香。あなたは？」

「……凜堂、更紗です。」

少し一人を見つめてから、更紗は口を開いた。そしてにっこりと微笑む。

「よろしくお願ひします。」

そのあまりの可愛さに、由香と明樹は思わずうわづつた声で「は、はいっ！」と返事をする。その様子を見ていた他のクラスメイト達が笑つた。

「二人とも変な声。」

「さすが明樹は行動早いね。」

「凜堂さん、私もよろしく。」

それから暫く暖かい空気が流れた。その間、更紗の目は全く笑っていないことには、誰も気付かなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2325ba/>

ヤンデレの累乗方程式。

2012年1月5日22時50分発行